





八月に刈り行へば一年の間乃至九回連続して新葉が得れ從つて蠶も殆んど其度毎に毎育出来る。桑葉は桑樹の老若又は土質等依りて收量一定出来難けれど普通三年生の桑樹二百本あれば十五瓦の蠶種を一年に二回育てる事出来る。故に四十キロの桑葉にて壹瓦の蠶種を飼育出来る事である。

差違の無いのに當てが外れ、これでは歐洲人の興味はそんないと思案を凝した末、男女三十五人の黒人をエキストラにも雇ひ入れ、一行アクリマソングで公園内牛舎を背景として、伯國を侮辱した一場面を演出撮影した事を警察へ密告したものがあつたので、警察側ではその現像を依頼されてあつたインデベンデンシア・オムニア・フィルム社から同フィルムを押収し検査の結果、最も甚しい場面約百五十米突切り取

夫等の罵声に吐き出された黒人たちは、土下座をしながら鞭撻を受けた。その傍らで、白人たちは、警官たちによって監視され、監視側では、劇場側では、警察が監視する。この映画は、黒人の悲惨な現状を描いたものである。

凡そ人生は何時でも戦闘である。戦闘に敗けて、引込み切つて、に引込むものは、遂に勝算が立たぬ。失敗艱難を心の樂として、用意周到、更に前進を怠らぬのにのみ、勝利の榮冠が来るるのである。

報時爾西刺伯

大正五十八年八月六日

金羅

聖州に於ける養蠶

苗木を受取つたなれば直ちに  
を解き日陰に埋め置き本畑へ移す。  
へる前日に暫く水中へ浸し置く。  
植付の時期は五六七月を除く。何時にも差支ない。そして  
木を請求する前又は挿木の場所  
は移植する前に豫め植へる穴を  
掘つて置かねばならん。穴はさ  
きさ五十センチの深さ六十セ  
ンチで三米突の距離に堀る。間  
はミリヨ、フェジョン、バタ  
位は良い。挿付で少しだけ柱を立てる。又注意して除草を行  
ばならん。剪定には第一に柔

一、温度の大なる變化なく且つ  
過度に温氣ない處  
一、換氣法の行ひ易き處  
一、容易に掃除出来る處  
等で日中の温度は攝氏二十三度  
が適當して居る、故に當州の氣  
候では特に蠶室を設立しても  
大いが普通の室内又は地下室で  
出来る、たゞ清潔を保つ事が是  
も必要である、設備としては第  
一は蠶を飼ふ棚（エスティラ）で  
これは竹又は木にて容易に出来  
る、その一つの棚は一乃至三米  
突半方位の大きさのもの或は長  
さ二三米突に幅八センチのもの

様にすれば便利である、次に孔の開ける紙(パヘル・ラード)或は蠶網の一鰐用には徑二ミリの孔、二鰐用には五ミリ、三鰐用には十一ミリ、四鰐用には十六ミリの大さきのものを要す、それからボスケこれは上簇さす爲め竹枝か木の枝にてよく乾燥せらるものを四鰐以後はカグアレテデ・バアムフ(竹の脚架)の上で飼ふ故に其上部へ置くか又棚の處へ置き其處で上簇さす尙日本用の如く糞等にて上簇マムシを使ふものもよい、其他飼育籠、桑籠、蘭籠等其の他の小道具を要す。

凶年（上）の福音  
私は今茲に「凶年の福音」と事を話して見やうと思ふ。年なら福音もあらうが、凶年は福音があるなどとは、少し變と思ふ人があるかも知れぬが、凶年にも却々福音の音れが含でゐるものである。

のを四十乃至五十センチの間隔に段々に作り取り外しの出来るつてから又黒人を物色して撮つて同じ事だ一と云つてゐた

# 凶年の福音(上)

一度び廣告するや注文殺到  
忽ち數百部を賣り殘本僅少  
となりました。また品切れ  
にならざる内御申込を乞ふ

大使館貢大武和三郎氏  
和葡辭典

一手販賣所  
Caixa postal, H. S. Paulo

國を愛せ  
歯を愛せ!!!

◎ライオン歯磨  
◎クランブ歯磨  
◎クランブ歯磨  
新着品は格安に御取引可申候

大袋入 桐箱入 大袋入 桐箱入

大罐入 器入 大罐入 器入

大袋入 器入 大袋入 器入

An illustration of a vintage-style medicine box and a small glass bottle. The box is rectangular with rounded corners, featuring a dark top half and a light-colored bottom half. The text on the box reads 'PILULAS DE S. SEBASTIÃO' at the top, followed by 'DO FARMACEUTICO CHIMICO' and 'A.F. DE MOURA TELLES' below it, and 'UBERABA' at the bottom. A hand is shown holding a small, round glass bottle with a stopper, positioned in front of the box.

# **Tokiwa Hotel**

Rua Conde de Sarzedas, No. 41

御出聖のさきは

The advertisement features a large circular logo containing the stylized character '神' (Kami). Below the logo, the word '印' (Ink) is written vertically above '油' (Oil). To the right of the logo, the text reads '御料理に此醤油を缺くは' (For your cooking, this soy sauce is indispensable), followed by '大牟の滋味其滋を彰さず' (The taste of the sea bream is highlighted) and '紅鱗の美魚亦其美を添す' (The beautiful fish with red scales also adds to its beauty). At the bottom left, the name '神田榮太郎' (Kanda Eitaro) is written vertically, and at the bottom right, 'サン・トス港' (San-Tos Port) is written vertically.

HOTEL USHIHO

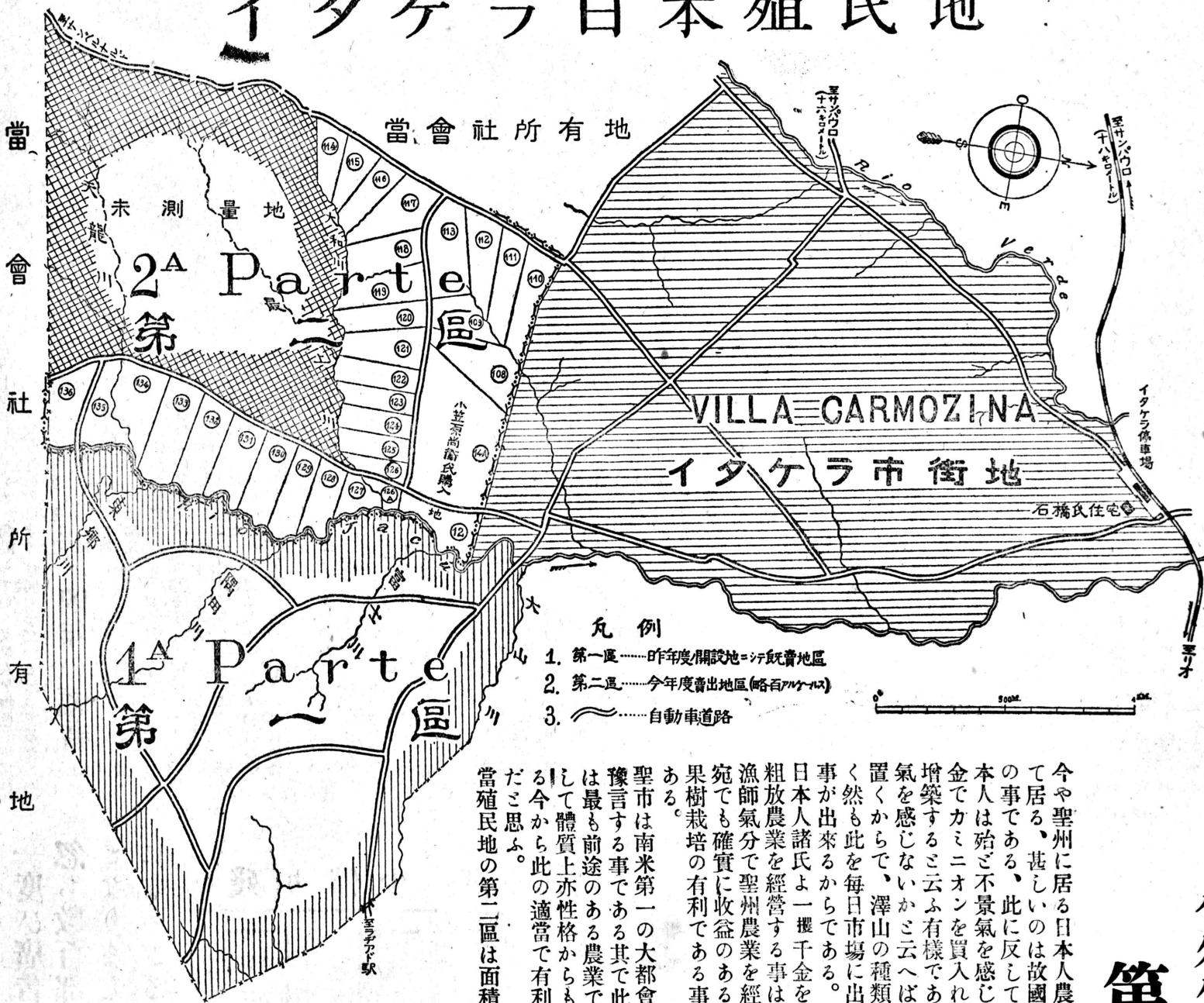
指定乗船切符 何才屋



## COLONIA NIPPONICA EM ITAQUERA

聖市郊外唯一ノ果樹野菜栽培適地

## イタケラ日本殖民地



今や聖州に居る日本人農家諸氏は一様に不景氣を唱て居る、甚しいのは故國から援助の金を待て居ることである、此に反して當イタケラ日本殖民地の日本人は殆ど不景氣を感じない、入植一年未満に儲た金でカミニオンを買入れるものや美しい煉瓦住宅を建築する云ふ有様である、何故に當殖民地は不景氣を感じないか云へば主作物を野菜、果樹栽培に置くからで、澤山の種類を有する野菜は生育期が短く然も此を毎日市場に出して多少に不拘收入を得る事が出来るからである。

日本人諸氏よ一攫千金を夢み資本少くして野心的に粗放農業を經營する事は實に危険で失敗の基である漁師氣分で聖州農業を經營する事は時代遅れで少しでも確實に收益のある聖市郊外の當殖民地で野菜栽培の有利である事に注目す可き事が來たのである。聖市は南米第一の大都會に成る事は皆海外漫遊者の豫言する事である其で此の大都會の郊外野菜果物作は最も前途のある農業で、殊に日本人は他國民に比して體質上亦性格からも集約的の野菜作に適して居る今から此の適當で有利の農事に着手する事は大切だと思ふ。

當殖民地の第二區は面積約百拾アルケーレスで今年三月から賣初め已に過半は日本人間に賣却済みとなり、尙ほ五十アルケーレスのうち略ぼ五十ロツテの未賣却地区がある。

**八 コントス**  
地價一アルケール  
支拂は毎年一回でも、亦

住宅は當殖民地では全部煉瓦作で當會社に相談の都合で建築材料一切を月賦支拂法で建立する事が出来る。

# 第一區擴張廣告

## イタケラ日本殖民地

當殖民地は曾てない特殊のもので野菜、果樹を主作とする計でなく次に列記する様な特色を有して居る。

一、當殖民地の各區は大略一アルケール内外必ず區内には流水と車道が通じて居る。

二、子弟の教育には最も便宜である事はイタケラ町の公立小學校へは當殖民地から毎朝徒步で通學が出来ず中學校へは毎朝に送るにも聖市迄毎日汽車で通學が出来る。

三、野菜作に少しく経験のあるものは入植後半ヶ年で毎月拂込む地代は容易に儲け得る事は事實が證明してゐる。

四、入植者て住宅を建築する時には前掲の便宜がある。

五、當會社は當殖民地を日本人殖民地中模範とも成る可く完全に近いものとする考で入植者を撰定する農事に勉勵一致團結の出来ない者や亦土地を買入れ放棄し置き地價の半ヶ年で毎月拂込む地代は容易に儲け得る事は事實が證明してゐる。

六、當會社は殖民地内の農事進歩を計る爲に殖民者が共同して農業圖書部や地内産物の農產品評會を開く時は充分に援助する。

七、當會社は殖民地在住日本人の物質的發達を計ると共に第二殖民地の中央に體育、教育娛樂機關の設置用地を豫定してある。

八、交通の點は最も當殖民地の特色でイタケラ町の驛より殖民地迄は三キロ米突で立派な車道があり往復貨運車に三百レース電車

賃よりも安い一ヶ月往復車券五針である。

九、野菜作の最も心配するのは產物の販路である、イタケラ町は毎日郊外鐵道が二十餘回

の往復があり往復貨運車に三百レース電車

賃よりも安い一ヶ月往復車券五針である。

十、野菜作の最も心配するのは產物の販路である、イタケラ町は毎日郊外鐵道が二十餘回

の往復があり往復貨運車に三百レース電車

賃よりも安い一ヶ月往復車券五針である。

十一、野菜作の最も心配るのは產物の販路である、イタケラ町は毎日郊外鐵道が二十餘回

の往復があり往復貨運車に三百レース電車

賃よりも安い一ヶ月往復車券五針である。

十二、野菜作の最も心配のは

**CIA. COMMERCIAL PASTORIL E AGRICOLA**

RUA S. BENTO, NO. 45

—S. PAULO—

CAIXA POSTAL, 2740

俺が在所で  
面河の鮎や  
森田の茶園  
また有りますよ  
深山の檜  
他村への便  
小町への便  
誇るに足るは  
せとはなしに入知れぬ懲心に悶  
へる身となつた。殊に他の娘達  
は十五か六かで縁談に花を咲か  
せるのに、それだに、自分ばかり  
は一度も貰ひ手もなし、何  
となく詳しく思はれてならなか  
つた。  
然しそれかと云つて兩親に尋ね  
て見るだけの勇氣はどう考へて  
も出なかつた。  
只々小鳩の様な心臓を持つ彼女  
は果かない初戀に悶へゝて日  
を送つた。  
丁度月の十五夜は村のお堂で御  
通夜があつた。  
青春の血踊る若い男女の喜ぶ可  
かへる所だが、あなたもがへり

等しく自分に向つてゐると云ふ  
こども誰かに探ぐられてでも居  
に知らぬ間に夜は更けて直ぐ春  
足く上る坂道を夾んで青黒く  
彩つた青芽の中に咲く百合の花  
の香を袂に一丁程上つた。  
と丁度其の時右手の雜木林に差  
しかつた時『千さんぢやない  
の!』と出しゆけに聲して浴衣  
の振袖も床しく追ひすがる様に走  
來のは小町娘のお繁であつた。  
『あゝ驚いた、おおお繁さんか  
何して居たの!僕か、今夜御通  
夜に行つたが面白くないから

# 伯父の話 (2)

レディ・ミソン 耕也

平井 生

茶屋のお繁は評判の容量よしで  
お繁さんと呼ぶより深山小町の方  
が近在の青年などには解り易い位で有つた。  
娘の子供友達として『高が田舎娘!』  
馬鹿にして居たお繁と三年後に會つた十七の小町娘の姿は千太郎を不思議に思はせずには置かなかつた。  
お繁は又孝行者であつた、朝は早くからせつせつと働き、九時頃からは老父と共に薄暮に包まれる頃迄は茶畠や唐黍の夕の煙の手入をして居た。  
青雲の志と血氣に逸る千太郎も此頃の自分の勉強さまを思ひ出しても夕風涼しく風鈴に訪れる頃度磁石にでも吸ひ付けられる様に思はず知らず坂道を降るのであった。

そしては去年の暮上京して終つた無二の友正岡から送つて呉れた詩集の中の一頁を思ひ出され

『なるかなぬか、わが相手に

向ひを結ぶの神祈り!』

つた宵の空氣にコダマして下のき込んで居た千太郎も思はず歩道を左側へ下つて半里程降りかけて来る若人の歌聲を、じつと聞

處に立てられた奉燈の中を御

堂に入つた。

豆絞りの手拭ひで頬かむりをして居られなかつた。

た若い男等の紫班らに化粧した小娘たちの後からくこ來る

のが何故とはなしに羨ましく感ぜずには居られなかつた。

當日頃から假へ親が何と云は

が、生命を的にして大學を卒業して見せる、白毛の駒に股がつてなくば二度と故郷へはかへるまいと云ふ勢の彼も自然

人懲しくなるのであつた。

伯父の話

結婚後

笑話

妻「こんなお馬鹿さんを知つたら私畢方さ結婚しやしなかつたんですねに……」

夫「僕が結婚申込を決心した時にそちら私畢方さ結婚しやしなかつたんですねに……」

にませんか！」とやさしい聲に、  
『はい、有難ふ、私もかへりです  
よ。』二人は坂道も食つ付いた様  
に歩んだ、話聲は目下に流れる  
急流の音と和していくまでも頬  
切ついた。

# 夕ぐれの路

**Toyoco Sasaki**  
Parteira Diplomada no  
Japão e em São Paulo

# 御旅館 日光館

merica Hotel  
Proprietarios  
arquez & Cubelas

Rua Senator Feijó  
68-84 Santos

ナントス港  
ラルゴ・デ・セツテ  
セツランブロ<sup>(六番)</sup>  
電話……一八〇四

大阪商船切符仲次所  
伯刺西爾時報取次所  
旅館 成功館  
古謝將義  
Largo 7 de Setembro, 15  
Tel. Central, 2003 Santos

**CAFE' E RESTAURANTE**

Praça José Bonifacio, No. 22 Telephone Central, 2897  
**SANTOS**

伯雨金の兩替お求めに應じます  
サントス市  
ボニファシオ一二二番  
上原直義  
経営者

A hand-drawn map showing a street layout. At the top, the word "DOCAS" is written above a horizontal line. A vertical line extends downwards from this point. To the left of the vertical line, the word "ESTACAO" is written above a short horizontal line. To the right of the vertical line, there is a shaded rectangular area labeled "ARMAZEM N° 6". Below the vertical line, there is a small illustration of a building with a chimney. To the right of this building, a shaded rectangular area is labeled "PRAÇA JOSÉ BONIFÁCIO". The vertical line continues downwards, ending at a point where two other lines branch off to the left and right, labeled "RUA D. GONÇALVES" and "RUA D. ENGRACAC".

サントス港御在住の御方々は申  
に及ばず他より御来港の御方々  
是非一度サントス名物の  
**カフエー・エ・**  
**レストランテ**  
へ御立寄りを願ひます。  
御料理は和洋両方お客様のお望  
通りに御調理いたしますから何  
充分の御愛顧ご御引立ごを伏し  
願ひ上ります。謹白  
當料理店の所在地は左記略圖通り

# 諸農具器械一手販賣所

## 農具諸器械の御用なら

日曜金 號十六百四第

## 伯刺西爾時報

綿糸織物は、生糸に次ぐ輸出品の大宗として、輸出額が六億に上り、支那、南洋、印度アフリカ、バルカンの諸地方に於いて、輸出額年々増加の一途を辿る。一方、太物の生産は支那紡績の脅威を受け、漸次これにその地位を譲りつつあり、殊に支那關稅會議の結果による二分五厘の増徴が実施される所、必然的にこの趨勢を一層甚だしからしめ、本邦紡績業はその發展の方向は専ら細糸に求めなければならぬことは明かである。然るに、邦糸に至つては、マンチエスター品は依然獨歩の地位を維持し、本邦品の容易に追従を許さざるものがある。加ふるに工場法の實施に依る深夜業の禁止、幼年女工の使用制限等を控て、本邦紡業の前途は必ずしも樂觀を許さざるものがある。そこでこの前途打開策として考へらるゝは、經營の合理化と技術の進歩であるが、紡績業の經營に至っては、本邦各種工業中最も合理的のもので、これが今日の發達を招くに至つた有力な一因をなしてゐる位であるから、これ以上經營上改善すべき余地少く、依つて今後は専ら技術の改良進歩に依り、細糸の高級品特殊品を生産して、耕作地改良と擴張宣傳に活動映畫

# 官營の紡績工場を計畫 特種綿糸の研究

田本近信

耕地課では活動寫眞に依る宣傳方法を考案して、五月中旬からこれが實行の第一歩に着手され、監督が張り廻して同課より監督が張り廻して同耕地整理の實況を撮影中であつたが、この程同地方の撮影を打ち切つて今度は關東で撮影する事が出来ることになつた、之について同課の元技術者は「この計畫の目的は耕地の改良並びに擴張工事を行ひつゝあるもの、参考に供し尙又將來事業を益々盛んに起すやうに戒誡して、些かなりとも食糧問題解決の端緒をいためで、今回は差當り關西で林野開墾の水源工事、導水路工事などを爲したが、關東では伐根作業、地盤の整理、移住經營、土地利用計画などを撮る豫定で、完成の曉は希臘の各府縣に貸與したり、買ひたいものには實質でわかつた、新地擴張改良獎勵の方面に使ふつもりである、尙本年中には埋立干拓工事、用排水幹線工事及び畑地開墾の狀況など七八千尺を一般人に興味ある様に撮影したいと思つてゐる」と語つた。

囚人等護送の途上 憲兵も出動して鎮撫

囚人は 同驛前で群衆に向ひ宮仙臺市外宮城利務所では七年四明大出身多ヶ谷平外十九名を秋田利務所に移すべく、六月十五日午前九時市外長町停車場から乗車せしめやうとしたが

廿名の 四人は再び群衆に訴へはじめたので看守の急報により仙臺署が警官署に於ける囚人虐待の事實につき島山警部補以下十數名が添付の看守はすつかり面食い鏡撫に努めたが聽き入れるので、威嚇して一旦利務所へ護送し、午後二時半に至りあらためて仙臺驛郵列車に乗せやうとする前記

出る際看守連に袋叩きにされ人事不省へなれど、一方仙臺軍兵隊よりも安藤蔵長以下數名が繩返した後首魁多ヶ谷平一名を残し十名だけが午後五時半の列車で秋田へ達つたが、多ヶ谷は驛前の交番で島山警部補に對し

口頭で 「自分は宮城利務所を

全國八百萬の信徒は悉く舉つて賛成し清浦子や田中光顯伯も非常に力瘤を入れてゐる

廣 告  
在『サンバウロ』帝國總領事館管内  
各邦人集團地代表者御中  
曩に當館管内に於ける在留邦人の職業別人  
口表作成に關し各地方代表者諸君に宛て調  
査依頼狀を差出し置候處右依頼洩れの地方  
も有之べきに付これ等の地方の代表者はこ  
の際自發的に在留者の家長名、縣名、男女  
別、家族數並職業御取調の上至急御申告相  
煩度右御依頼申進候也  
  
追而既に依頼狀御受取の向は可成至急御回報  
相煩度し  
以上  
大正十五年七月十九日



**BROMBERG & CIA.**  
Rua da Quitanda, 10 S. Paulo  
Caixa Postal, 756



**プラツツ器印**

**噴 雾 器**

本器は農業家、果樹栽培家、園芸家、牧畜業者及養鷄家に缺くべからざる道具

果樹やトマトに對しての消毒用をなすべし、更に之を外人知友に進物用となれば邦人宣傳の目的には上々の策たるべし

定價一部金十ミル  
取次所 本社

**Prof. Bruno Lobo**  
**"Japonezes"**  
no Japão - no Brasil

本書の著者はリオ醫科大學教授にして人類學上より邦人が有色人種として劣等なりて從來上の非難に對し然らざる所以を力説して排日家の説を決して劣等ならしめざる事を諸種の新報を挙げ論證せり。即ち本書は日本人正當に紹介するを同時に學問上の根據より日本人を正解し辯護したくも葡語を解する者は讀め、葡語を解せざる者も必ず一本を備へよ。そは明かに邦人宣傳の如きは邦人宣傳の目的には上々の策たるべし

**ブルノ・ロー・ボ博士新著**  
(日本及伯國) に於ける日本人

兄弟は大阪の商人と妻をやつして、或曰朝未明、赤穂の城下を出立した。本街道の出口を固めた、脇阪

赤穂の出口は番所を設けて、出入毎に取調べ、士官ならば他藩の者ども、明かな證據を求めて百姓町人も一見して、疑ひない目であつたが、内藏之助は一家中から、特に孫四郎兄弟を選んだ。

兄弟は大阪の商人と妻をやつして、或曰朝未明、赤穂の城下を出立した。本街道の出口を固めた、脇阪

赤穂の出口は番所を設けて、出入毎に取調べ、士官ならば他藩の者ども、明かな證據を求めて百姓町人も一見して、疑ひない目であつたが、内藏之助は一家中から、特に孫四郎兄弟を選んだ。

**Dr. Rocha** Telephone Avenida, 418  
急用電話所 Rua Barão de Itapetininga, 52

**Botelho** CLINICA DENTISTA  
NIPPON-BRASILEIRA

**医** 日伯歯科醫院  
セバツシヨン  
モーラサンントス  
聖市ボニータ街  
(上地旅館の隣り)

**小児科** 一般  
ドットール  
専門  
獨逸柏林病院に於いて  
多年経験を積める

**村上眞市郎** (上地旅館の隣り)

**Dr. S. TAKAOKA** MEDICO E OPERADOR  
Rua Fagundes, 8-S. Paulo

高岡專太郎  
ドクターハイガタセンタロウ  
市 聽察 午後三時より  
電話サンタラス街八番  
四〇八二〇二

The image is a collage of several newspaper clippings from a Japanese publication. It includes:

- A notice for 'Casa Fotoptica' (光学店) located at Rua São Bento, 55, Caixa Postal, 2030 S. Paulo. It lists services for cameras, binoculars, and various types of glasses.
- An advertisement for 'F. S. Hampshire & Companhia Ltd.' (F. S. Hampshire & Co. Ltd.) with addresses in São Paulo and Santos.
- A notice for 'WAKASA MARU' (若狭丸) sailing from Santos on August 16.
- An advertisement for '日本郵船株式會社' (Nippon Yusen Kaisha) featuring a flag and the text '汽船出帆廣告' (Steamship Departure Advertisement).
- A notice for 'KANTO' (Kanto) with a diamond logo containing the letter 'K'. It includes contact information for Santos: セナドールダンタス街五三三〇五四二一八。
- A general notice for '乾魚' (Dried Fish) from a food store.